



Compass

45期生学年だより 第5号

発行 平成29年12月22日

冬休み～クリスマスにお正月！！

今シーズンは例年になく、寒さがきびしく感じますね。これから二週間、冬休みです。しかも明後日はクリスマス・イブ。それが終わると年末の大掃除やカウントダウンのイベント、そしてお正月と、楽しい行事が目白押しです。

さて、問題は世の中の遊びモードに流されて、勉強をまったく忘れてしまうことです。あつと言う間に過ぎてしまう冬休み、短いから大丈夫と高を括っていると手痛い



しっぺ返しを待っています。この二週間、まるまる勉強をしないのは脳にとって良いことではありません。英語や数学などはきめんに影響を受けます。さすがに大晦日と三が日はゆったりしても、それ以外の日は必ず一時間以上、宿題・予習・復習など勉強に取り組む必要があります。何故かは、次の内容をしっかり理解してください。



家庭学習非常事態！

さまざまな行事が終わり、2学期も終わろうとしています。この2学期を振り返って、みなさんの学習への取り組みはどうでしたか。夏休み明けに実施したスタディサポートの結果を見てどう感じましたか。入学時には学力がBレベル（中堅大学が狙える）の人が多かったのですが、Cレベル（大学に挑戦する）どころかDレベル（最低限の学力）まで下がってしまった人もいます。自分の成績票をもう一度見直してどんな点に問題があるのか考えてください。

複数の原因が考えられますが、最も重要なポイントは**学習習慣の欠如**です。

みなさんの家庭学習の時間はどのくらいですか。テスト前を除くと、平日・休日ともにほとんど勉強をしていない状態ではないでしょうか。さらに、テストが終わると勉強した内容を忘れていませんか。

また、宿題は学校で友達の解答を写す。単語テストは朝登校後の空き時間に詰め込む。授業では、単に黒板を写しているだけ……。こんな状態になっていませんか？

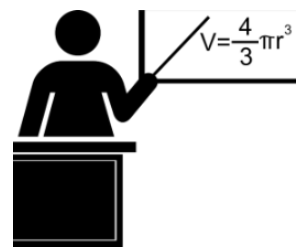
大学入試は、中学校の時と違い学校の授業をこなしてさえいればなんとかなるというものではありません。一般入試に向けて勉強している日本中の高校生と競うのだということを忘れてはいませんか？

では、どうしたら良いのでしょうか。

「1年3学期は2年0学期」と言われています。それは2年生になるための準備期間です。そこで、3学期は総復習に当てましょう。ここが押さえられないと2年そして3年になってからいくら頑張っても穴のあいたバケツのように力を蓄えることができません。高校入学から今まで学んできたことを復習し、理解の足りないところ・弱点がどこにあるのかを探し出してください。そして、その弱点を潰し、しっかりとした土台をつくりましょう。その土台が2年生になってから生きてきます。

では、具体的にどうしたら良いのでしょうか。

まずは、自分の将来を確かなものにするために**家庭学習の習慣**をこの冬休みの間に身につけてください。**毎日取り組む**ことです。最初はなかなか時間を掛けられないかもしれませんが、まずは30分程度勉強したら5分の休憩を挟むというペースで取り組んでみましょう。教科科目も一つに絞らず、休憩ごとに変化させると気分転換にもなりますよ。これを続けていけば、慣れてくると2～3時間程度できるようになってきます。ぜひ、挑戦してみてください。



進学について

進学を考える上で、落とし穴が一つあります。それは推薦入試やAO入試で早く楽に決めてしまいたいと考えることです。推薦だけを狙って勉強するため、とりあえず目先の学校の成績を上げること、つまり定期テストの勉強と提出物さえ頑張っていれば大丈夫と勘違いしていることです。そして、その場限りの成績を上げることに囚われて高校3年間を過ごしてしまい、1年から3年まで通してみた基礎から応用・発展的な学力を身につけることが十分にできていないことになってしまいます。

そのため学力が不足し公募制推薦（AOを含む）で不合格になることも少なくありません。現実には志望校を変更し再挑戦していますがなかなか良い結果を出せず、一般受験をすることになり、その時になって勉強を始めても、もう手遅れ以外のなにものでもありません。たとえ推薦を希望する場合でも一般受験の備えを怠ってはならないのです。

そればかりか、大学生になってからの就職活動でも、推薦・AOの人は一般受験の人に比べ苦戦することが多いそうです。実際に大学職員の方から伺った話では、人気のある企業や職種ほど一般受験の学生の方が内定率が高く、推薦・AOの学生は100社以上エントリーシートを提出してもなかなか内定までたどり着けないことが目立つそうです。おそらく、高校で十分な基礎学力を身につけていなかったことが影響しているのでしょう。

皆さんがそうならないように、今、ここから確かな学力を磨き、AI（人工知能）に負けない強みを身につけ、大学を卒業するときに困らないようにしてほしいと思います。

自分の人生を切り拓くのは学校ではありません、自分自身です。学校はお手伝いしかできません。学校を利用して希望する将来を手に入れられるよう頑張りましょう。

1月18日進研模試

冬休み明けの18日（木）に、進研模試「総合学力テスト」を英語・国語・数学の三教科で実施します。初めての全国模試を受験するにあたり、どんな勉強をしたら良いのでしょうか。

先日、進研模試デジタルサービス用のIDを配布しました。みなさんはもう登録しましたか。このIDで、ベネッセのマナビジョンというサービスに入ることができます。

マナビジョンにログインすると、大学を始めとして専門学校や職業について調べることができます。さらに、進研模試デジタルサービスに移ると、次回の試験への目標設定や志望校判定ができるだけでなく、「サガ勉」というコンテンツがあります。そこでは、各科目のポイントの解説映像や、基礎問題のドリルなどが用意されており、自分の目標に合わせたコンテンツが紹介されています。しかも、試験が終わって結果がでたら、復習コンテンツも利用できるのです。ぜひ、「サガ勉」を利用してテストの準備と復習をして、基礎固めをしましょう。

さて、受験に際し注意点がありません。進研模試は全国の大学進学希望者が受験するものです。生半可の覚悟で受けるととんでもないショックを受けることになります。おそらく皆さんの多くが全国偏差値で30くらいになり、こんな点数では進学が無理なのではないかとあきらめムードになりかねません。でも、これは1年生の今の状況です。ここをスタートとして何をどうすれば憧れの進路が実現できるのか、それを考え行動するためのきっかけとしてほしいと思っています。現時点での結果は変えられませんが、未来の結果を変えることはできるのです。そのための模擬試験です。しっかりと活用できるように冬休み中に準備しましょう。



編集雑記

2029年にAIが人間の知能を超え、2045年にはシンギュラリティが起きると言われています。AIに仕事にとって代わられるこれからの時代を生き抜くためには、過去の経験だけでは予測や判断ができません。その時、その場でどう判断してどう行動するか自己責任で決めなければならない世界がやってきます。より良い判断ができるよう考える力をしっかりと身につけたいものですね。